

一 般 質 問 発 言 通 告 書

議席番号 14 番氏名 布施 賢司

答弁を求める者

 市長 教育長 監査委員 選挙管理委員会委員長

(○をつける)

 農業委員会会長 固定資産評価審査委員会委員長 公平委員会委員長

発言項目及び要旨

1 ICT を活用した業務最適化の推進について

コロナ禍によってリモートワークが普及し、企業においても業務のペーパーレス化が急速に進んでいますが、その一方、紙文化が根強く残る自治体では、ペーパーレス化はあまり進んでいません。しかし、紙文化の自治体こそペーパーレス化による業務効率化とコスト削減のメリットは大きくなるのではないのでしょうか。政府も現在、「行政のデジタル化の徹底」「政府ネットワーク環境の再構築」「地方公共団体のデジタル化」に取り組む方針を示しています。こうした国の構想が進むと、必然的にペーパーレス化が進み、自治体もそれに対応することが求められます。いまのうちから計画的にペーパーレス化を進めることが重要だと思ひ質問をします。

(1) 執行部側のペーパーレス会議システムの導入について

浜田市議会では、担当委員会での検討や先進地視察を経て、行財政改革実施計画の取組みとして平成30年9月浜田市議会定例会から、議員用・事務局用のタブレット端末30台導入しました。(執行部側は導入していません) 導入の目的は、会議システム(Sidebooks)を活用した資料のペーパーレス化(電子化)、経費削減(作成にかかる人件費、消耗品代等)、議員の情報収集機能の強化でした。今では議会運営の効率化や資料データの管理をはじめとして、より効果的な活用がされていて、最近では、ウェブ会議Zoomを使用してオンラインによる議員研修会も実施したところです。

- ① 議会側が導入した時期に執行部側への導入は現時点では困難と判断されました。その時の理由を伺います。
- ② 大量の紙が必要とされ、多大な手間とコストがかかる議会資料がありますが、年間デジタル複合機の使用枚数と印刷コストを伺います。
- ③ 執行部側として、ペーパーレス会議システムを導入することで期待できる負担軽減や効果を伺います。

- ④ 執行部側（課長職以上、部長職以上）が5階でのペーパーレス会議システムを導入するとしてどの位のコストがかかるのか伺います。
- ⑤ 効率的に事務を行い生産性の向上を図ることで行政DX（デジタル技術による生活や仕事等の変革）をより一層推進するためにも、執行部側もペーパーレス会議システムの導入をすべきであると思いますが、市長のご所見を伺います。

2 動き出した浜田郷土資料館建替え整備について

先般、市民を対象にした浜田郷土資料館の見学会が実施されました。その後、議会側にも案内があり私も見学したところです。この目的は老朽化の著しい郷土資料館の状況や狭い展示、保存スペースなどを見ていただき、現状に対する様々な意見や感想をお聞きするためだと報告がありました。

(1) 市民見学会アンケート結果について

- ① 見学者（141人）アンケートで設問された、問3～問6までのアンケート結果によるご所見を伺います。
- ② 見学者のお一人が、後日、山陰中央新報の読者の声「こだま」に「どうする 浜田郷土資料館」を投稿されました。内容の一部を紹介しますと、浜田郷土資料館の見学会に参加しました。「見ると聞くとは大違い」とはこのことかというのが第一印象です。文化都市浜田とはほど遠く「浜田の郷土資料館です」と大きな声では言えないと思いました。収納庫に眠る資料が圧倒的多数との説明に驚きでした。収蔵庫は、人の入る隙間がないほど資料が整然と、分かりやすく詰め込まれています。展示室の資料はどれもこれも後世に残すべき責任のある資料だと痛感しました。しかし資料館は古く、床や壁に亀裂が入り雨漏りが生じる状況だそうです。この記事、市長もお読みになったと思いますがご所見を伺います。
- ③ 当初スケジュールでは9月中に見学会での意見をもとに、各地域協議会単位で今後の建て替えに向けての方向性について意見交換会を開催するとありましたが、実施されたのか、また、どのような意見があったのか伺います。
- ④ 建替え整備に向けて、今後のスケジュールを伺います。